京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金六十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高水久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西小門通 發行所 京城新報社 電話大三番 振替口座京城四五一六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町十番地

雜報

●平壤無煙炭の將來(下)

片岡實投

且つ一見純良なる如きも試に粉炭を洗滌するときは必ず幾分の焦土を含む平壤炭は決して否らず斷續厚薄常ならずと雖ども往々四千尺乃至五千尺に及べる處あり其膨大なる部分に恰も幾千噸かの貯炭を其儘埋沒せしものに似たり隨て坑道を穿ち坑內に於て採掘するよりも寧ろ地表操業の經濟なるを以て上部の土石を剝ね石炭面に軌條を布設しスコップ或は鶴嘴等にて炭車に移し貯炭場に搬出す其最平面百坪或は二百坪餘の處に於て一萬噸に達するとあり爲めに採炭費は一噸僅かに卅錢內外を要するに過ぎず平壤炭を別にし天下豈斯の如く低廉にして簡易に採掘し得らるゝ炭層あらんや坑口に在て炭車を取扱ふ坑夫を今猶棹取と稱す往時燃ゆる石と稱へ好奇物に採炭せし時代に於て棹の一端に容器を着け石炭或は湧水を扱み上げたるより起りし名稱と云ふ此時代の簡易には及ばざりしなるべし其優良の炭質と豐富なる炭量と及未だ他の鑛床に顯れざる變態とは共に鑛業家好箇の研究資料たらずんば非ず今や內地の石炭は既に旺盛期を過ぎ大規模の設備を施したる炭坑に於て幾千尺の坑底に漸く命脈を保つ彼此對照するときは一世紀の遲速あり朝鮮鑛業の前途又多望なる哉之を要するに炭量の豐富なるは贅言を要せざる處只波狀斷續而も一定の層厚並に傾斜を有せず隨て確實に含有量を打算すること能はざるは既往に於ける缺點とす然れども廣袤十里の炭脈が盡く地層變動の影響を受け恰も貯炭場に於て數千噸を堆積し幾何の距離なく又其跡を斷つが如き不整規層には非る可く必ず奈邊にか整然たる大炭座を包容するは余輩の確信する處石炭若し靈あらば地下に其不遇を嘆じつゝあるべし余輩は官邊に於ける探礦の程度其他平壤炭に關する統計的の知識を有せず且つ學術上より論斷すること又不可能に屬するを以て學者の一顧に値せざるは素より期する處也只幾多鑛業家の注視を喚起しつゝある平壤炭の將來を考查し聊か所見を述べて參考の資に供せんとするの微衷に外ならざるのみ

●群山通信(一月廿二日)

愛水生

▲本年の正月は例年に比すれば何處も松飾や町內の裝飾は能く行き屆て居た樣であつたが座いふ譯か一般に市內の景氣引立ず誠に近年になき不景氣の新年の樣に思はれた

▲加之歲を越したら即ち一夜明れば一陽來復と共に當港の生命たる米穀の出廻も自然に增加するなるべしと一般に想像せられしに拘らず依然出廻皆無と云ふても宜しく例年なれば舊臘十一月より新年一二月にかけて埠頭常に米の山を築きて人の往來も見ない位である

▲然るに本年は僅に大連行や釜山送りの少許の米を時々此所彼所に一二ヶ所積上られしのみにて埠頭の光景は實に例年になき寂莫を極めて居る

▲四十四年の當港の貿易額は輸移出入總計三百三十九萬二千八百九十五圓で內輸移出百四十七萬四千四百五十圓輸移入一百九十一萬八千四百四十五圓である當港は元來輸移出貿易港として知られしに拘らず前年の輸移出入貿易は例年と貿易狀態を異にし全く主客顚倒して居る其貿易額は四十三年と略同一なるも肝心の輸移出振はざる爲め何となく活氣に乏しい何と云ふても當港は米穀の大集散地丈米穀輸移出少なければ一般に活氣がないのも無理ではない

▲何故に前年は輸移入が多くして輸移出少なかつたかと云ふ原因に就ては從來屢報導し置きたれば讀者諸君も既に承知せらるゝことであるから茲に重て之を記述せない

▲併し一言以て之を覆へば當地方一般に景氣が宜いから輸移入著しく增加し又一方輸移出方面に於ては種々の復雜なる關係が夫に相索引して斯くは米穀の出廻を妨碍し輸移出の大減少を見し譯である(續く)

●コツパ會句錄(一)

俳句

月の二十日、於倭城俱樂部コツパ會の例會を開く會する者靜軒、魚骨、袋人、田柿、桐子、桂雲、苔石、山猿、止水、香風、死佛、白雨、清風、瀨村、倚蒙、小盤、其月、刀筆、湖東、雄川の二十名、宿題摘草及猫の戀、席題十體につき駄句りたるもの一束左に錄すること〻なしぬ、此日偶公務出府中の澁谷石香、多羅尾刀筆の兩兄を招じたりしが石香兄は公務の支へにて來會せらるゝことを得ざりしは一同の遺憾とする所にてありき

(當番幹事雄川、湖東誌)

猫の戀

うそむの月夜畦行く猫の妻　魚骨
待つ人の來らす猫の戀する夜　袋人
浮かれ猫を嘲る月夜鴉かな　苔石
闇宵の忍び返しや猫の戀　倚蒙
浮れ猫飼も其儘に今日も亦　其月
蘇耶の猫法華の猫に戀す也　麥笛
普請の議寺の椽猫さかる　雄川
新疊落梅印す猫の戀　湖東
別れにし跡閑として猫の戀　刀筆
草屋の猫金殿の三毛と戀　小盤
針命の託きく夜や猫の戀　瀨村
欠け椀に日を數ふ戀の猫　白雨
靑樓の月淡くして猫の戀　山猿
更けた戶に物申めり猫の戀　松雲
秣叭のほくれし一夜猫の戀　田柿
猫の戀赤き椿の花も見し　靜軒

外事一束

▲伊軍の佛船抑留事件に關し佛國政府は伊が佛船乘組土耳古士官の全部を解放せざるに於ては此の際斷然佛海軍の示威運動に出ずべしと威嚇せり

▲北米イリノイス州に汽車衝突し負傷者廿名を出し睡眠中の乘客皆即死す

▲紐育を訪へたる加奈陀總督コンノート殿下更に華府に大統領を訪問すと

▲北米アリゾナにて日人に暴行を加へたる米國勞働者十名悉く無罪となり同地人心は爲に今後再び暴行あらんことを恐れ憤慨激甚を極むといへり

▲伊國政府土耳其領亞剌比亞港灣沿岸を封鎖することを愈々各國に宣言す

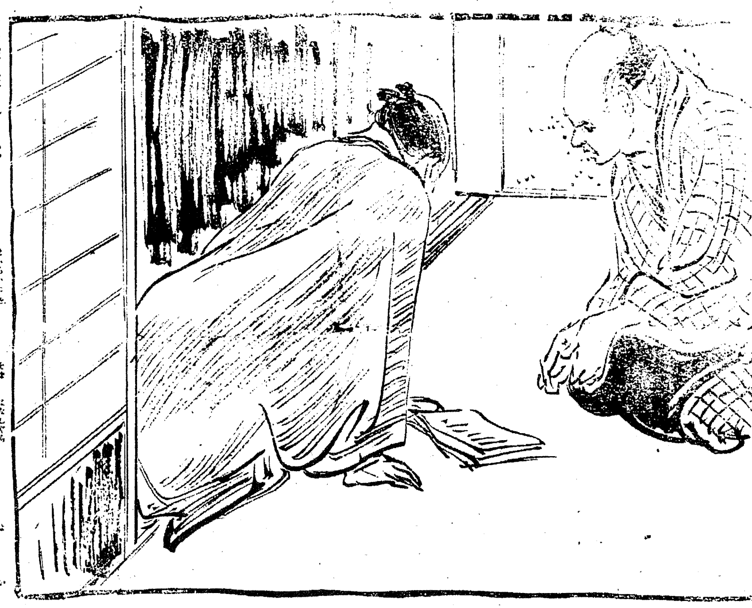
▲伊土兩國間の調停は兩國間の意見に懸隔甚しき爲め到底實行困難と云ふ

梁川庄八

小金井蘆洲 演

第八十八回

是を聞て庄八『イヤ〳〵左樣な事には及ばん、露て無罪赦免の言渡書は御城內から某にも御下渡しになつて承知を致した、委しい話は聞くには及ばぬ又當人の身体が元に復す迄逗留して吳との話であるが、乃公は素より本人に逢ふて禮などを請けたいと云所から盡力致したのではない、只同國人の好誼を以て助けたまでの事に止まる、只此上の賴みは何うか才助の身体が健康に復して以前の通り稼業に就かれるやうに充分手當を爲て貰ひたい』と性來淡白寡慾な人で恩を鼻に掛けて効を衒うやうな事のない梁川の持前勇吉は『勇仰せ御尤でございます、早速本人を伴れて御禮に參り兼まする次第は只今申上げました通りの譯でございますが、又何ぞ御逗留中相應の御用向がございますれば御遠慮なく手前に仰聞けられまして』と云のは若しも路用の金でも乏しければと云ふ勇吉の了簡、庄八も夫と察して『庄『イヤモー拙者は別に依賴する事はない、拙者は名聲を好む者でない人に恩を掛けて後の利得にすると云ふ考は持たぬ、最前も云通り只行掛り其塲の難儀を助けた迄の事禮には及ばぬ、早々立歸つて能く介抱を致して遣つてくれ』と云はれて逆つてども云氣て厚く禮を述べて立戾りまして、專ら才助の介抱を致します、病人は一に看護二に藥と申ますが、看護が行屆かなければ癒りの遲い者です、看護も行屆くし夫に不養生が禁じて病氣を覺へたのは全快は些と手間取れますが、打たれ叩かれして病を得たのですから本人の氣の持ちやうで排取る者でございます、醫者の診斷よりは思の外早く日數三十日も經ちますと、モー少しは寢起きも自由になるやうになりましたので、側で話位ゐしても、宜いと云ふ醫者の許し、併し本人の心を痛めぬやうな話をするが宜い、と云ふので才助が折々は、何うして私の身體が斯う云ふ事になつたかと問掛けても、マア後でた話をするからと云て、少しも裁判上の事は話さずに居りましたが段々身體が本に復して參つた者ですから、或日勇吉は定めて退屈だろうと、病室に來て『勇『マア能い鹽梅に肥立まして此工合ならば、遠からず本復でございます是と云のもお前樣の御運の好いので俱々悅ばしう存じます、マア結構な事でございます『オ』斯樣に手厚き御介抱を蒙り誠に辱ない、夫に就ても白洲の事を此間から再三お聞申ましたが氣に障るから聞たく〳〵と仰ので未だ御聞申さなかつたが併し急にお白洲の模樣が變つて斯う云落着になつたのは、何う云ふ譯でござるか不思議に思ひます、實に前の奉行は無法な人であつたが、裁判言渡しの時の奉行は全然前の奉行と違つて居たやうに思はれるが……』勇『エー全く違ひます前の奉行では迚も斯う云ふ運びには參りません、是は全く今の奉行樣になつたからでございます前の奉行の藤本下總守樣と仰しやる方は此度の事から今迄宜くない曲つた御調べなすつた事が露現をして、江戶表へ召返されて嚴しい閉門を仰付けられ御家が斷絕しやうかと云ふ場合になつたので、御當人も乃公が生きて居てはと云ので、御切腹なすつたものですから其處でお上でも格別の御憐愍を以て御家丈は立つたと云ふ事です、是は其筋の方から聞いたのですから事實でございませう、今は寬助太夫樣が御奉行でございます』才助も意外の話に打驚き『フームぢやあ前の奉行は非道の吟味が知れて切腹をしましたか』勇『ヘー夫に就て貴方の事に就て大變に盡力して下すつた方がございます』オ『ハ、ア』勇『私も及ばずながら貴方を御助け申たいと思ひまして、再三再四お奉行樣に嘆願もすれば證據人も立て〻見ましたが、却つてお叱りを受けるやうな譯で、百計盡きましたから此上は神佛の力を假るに若かずと村內一同の者と協議の上、彼れ是五十人ばかり身延のお山に七日のお籠りを致しました』オ『ハ、ア』勇『所が七日目の晩にお堂の隅にた侍が一人通夜をして居らつしやいました、其御武家樣が出て來て何の爲にお籠りをして居るかと云ふお尋ね、夫から私の親類向山の勘右衛門と申ます者が、是れ〳〵斯云ふ次第と下話を致しまして、寢て居りました私を起して吳ましたから、私が其お侍樣に委細のお話を致しました、才助は寢て聞て居たのが起上つて布團の上へ坐と座を直しました



寺内總督閣下に申す 其四

京城新報 水涙生

伯爵閣下、我國政治家の常套語に國利民福を計ると云ふ事あり、而かも堂々たる政治家に向かつて該語の意義を質すときに、彼等は兎もすると明瞭の答を爲し能はぬのである。凡そ普通人の考へを以てすると、國利と民福とが同時に計られ得るものとなつて居る、併し專問家の云ふ所に因ると國利と民福とは同時に計られ得るが如くにして、實は計られ得ざるものとなつて居る。敢て財政學初歩の講義を爲す譯ではないが、國家は元來自家が生産せず、從つて何等の富を有せず、其收入とするところは全く租税のみであるのである。されば、軍備に何々に、國家の經營を爲すに付ては其負擔を人民に掛けねばならぬ、茲に於てか國家の事業盛にして人民は益貧乏になるのである。借我半島の現状は如何と云ふに、取立上手の度支部は地租も關税も其他の諸税も中々拔目なく取つて居る、が併し取つても取つても飽足らない、ソレが何故かと云へば、ツマリは民福を計り財源を涵養することに勉めない結果である、ナニ度支部は目賀田顧問時代から相當に財源の涵養に勉めて居ると、ソレは成程ソウであることを余輩も承知はして居るが、併合後の今日となつては財源涵養の爲に財源涵養を爲すに非ずして、大々的に民福を計り其副産物として財源増加の結果を收むべきであるのである。余輩を以てすれば彼の製鹽の官營や無烟炭の官營や、何れも財源涵養の爲めの財源涵養の一例にして、總督府が一種の商賈を營んで利益を擧げんとするに過ぎざるもの、決して民福を計つて其副産物を收むるとは同日の論にあらざるもの、甚だ以て不都合と申すべしだ。ソコで誰れが何と申したとて、我總督府特別會計の歳入を増さんとせば、ドウしても一般人民の負擔力を増させる外はないのである。之れ是を勉めずして官營若しくは專賣の小細工により歳入の増加を計るは畢に民心を離反せしめ、勞多くして功少なき結果に了るのみである。之に反して財源涵養なぞと云ふ、僞國利的の仕事は一時見合せ只管民福を計ることと爲さば如何、其結果は民自ら富み、知らず知らず租税の負擔力を増すのである。伯爵閣下、前にも述べし如く、國利と民福とは同時に於て計れぬものである、否な勘なくとも同樣の重要さを以ては同時に計れぬものである。ソコで今日に於ける財政獨立目的貫徹の上よりすれば、余輩は論者の問に對して答へん、まづ第一に産業開發の故障となるべき種々の法令を改正し、特に彼の會社令に向かつて改正を加ふべしと。

東京電報

▲**内田外相言明** 二十六日衆議院豫算會議に於て内田外相は各國協約により滿國の領土保全は一貫すべく官革兩軍に對しては唯だ妥協を可として之を勸めたるに過ぎずと言明せり

▲**紛爭仲裁法案** 高木、卜部の兩代議士は國民黨、中央派、無所屬各派數十名の賛成を得て紛爭仲裁法案を衆議院に提出する筈なるが其内容は各市町村に一名の公選仲裁人を置き郡市町村長、商業會議所會頭をして人權爭亂民事々件の紛爭等を仲裁せしめ刑事々件に干しては其審議を俟て告訴後と雖も之が仲裁を爲す事を得る事とすると云ふ頗る長文のものなり

上海特電

▲**伍、唐の會見** 二十五日夕劉伍廷芳は唐紹怡と會見せしも要領を得ず唯平和の希望あることを語れるのみ革命軍と袁世凱と提携せば平和維持に効果あるべし

▲**北京廷の決意** 慶親王は皇太后に謁見し委曲奏上する所あり皇太后は始めて時局の眞相を詳かにし斷じて退位せざるべき旨仰出され又蒙古諸王等も革命派の脅迫に依る沈默せるも各皇族等は右の上諭に依り却て其意志強硬となりたりと

北京特電

▲**外人の時局觀** 北京發 北京朝電に曰く外國人側にては近々北京朝廷自ら處決すべしと信じ某國の如きは廿九日を以て公然革命黨政府を承認すべき模樣なり如何に時局に迷ふも大勢の赴く處如何ともなし難く而して右の所決は皇帝退位となるか或は袁世凱の大英斷となるか最も興味

を以て觀測せられ居れり

▲**南京政府承認** 南京政府は北方臨時共和國政府の組織、皇室優待條件を悉く承認せり

▲**袁世凱と公爵** 袁世凱は時局に關する功勞により一等公爵に封ぜらる

▲**滿朝閣員辭職** 滿朝閣員王大臣以下支那公使館員總辭職せんとすとの説あり

▲**蒙塵の準備成る** 熱河の宮殿は修理を終り皇帝何時蒙塵せらるゝも差支なく準備全く整ひたり

▲**年金問題と契約** 皇帝退位につき最も困難なるは年金問題なるが袁世凱は目下賜暇靜養中にも拘らず孫逸仙より直接電報を受理し年金三百萬兩にて交渉纏まりたるものゝ如し然れども右年金は一朝保皇黨にして新政府に叛するが如き暴動ある時は直ちに其送輿を停止さるべき契約なりと

▲**北京の殺氣** 袁世凱は保定の兵を北京の要所に配備したる爲め市中一体に殺氣を帶び來れり

雜報

●**煙草試作の計畫** 明年度に於ける太田大邱二ヶ所に於ける煙草の試作事業は既設の寶越、成川、清州、清安、陽智等の煙草耕作組合に倣ひて各所に新設し更に耕作資金を農工銀行又は金融組合より融通せしむる計畫をなし尙其耕作に關する技術上の講話講習並に簡易なる印刷物の配付をなすべし試作も從來の試作場以外に別に囑托試作の途を開き有良なる外國葉の試作を二三地方に試みる等にて益々事業を擴張すべしと云ふ

●**土地家屋の證明** 四十四年度上半期間中朝鮮各府郡に於て取扱ひたる土地家屋の證明件數は六萬五千四百十四件にして之れが爲めに移動したる價額又は債權額一千七百二十七萬九千九百九十一圓三十七錢七厘にして其の證明手數料五萬八千八十九圓八十二錢八厘なり之れを四十三年度の同期に比較すれば件數に於て二萬七百二十四件價額又は債權額に於て七百六十七萬四千三百七圓九十二錢七厘手數料に於て二萬二百三十九圓二十六錢五厘の増加せり此の増加手數を步合を以て示すときは件數に於て四割六步價額又は債權額に於て八割手數料に於て五割三步に當れるが更に其の證明事項別件數に就き前年度同期に比較せば取扱件數即ち交渉及保存證明に付ては各々二割三步の減少を來したるも贈與に付ては一割四步典當に付ては二割一步賣買に付ては實に八割九步の増加を見るに至れり尙ほ四十四年度上半期中の取扱件數を各道別として對照するに其の最多なるは京畿道の一萬六千五百三十七件にして最少なるは咸鏡北道の一千四百六十三件なりと云ふ

●**明年度の紅蔘製造高** 四十五年度に於ける紅蔘製造高は採掘間數四萬三千五百間收納斤數二萬七千斤にして此價格九萬千七百十五圓なり而して此の中紅蔘に製造するもの本蔘五千五百斤喫蔘二百斤總計五千七百斤價格四十六萬六百圓なりと云ふ尙此計數は一間に對する○、四の收蔘を豫定したるものにして昨年の如きは一割の收穫を見たれば四十五年度に於ても必ず多大なる增加を見るならんと主として天候に關するものあるを以て極めて少額に計上したる次第なりと云ふ

●**命令航路定期日割** 總督府に於て今回認可を與へたる朝督東沿岸命令航路定期船は二月より其の日割を定めて航行せしむべく決定せり

●**煙草會議の終了** 廿日より度支部税務課に於て開催中なる煙草係員及大田、大邱兩試作場職員の煙草耕作に關する協議は廿六日を以て終了せり

●**金融組合の增設** 總督府は金融組合增加に伴ふ經費補助として三萬八千圓餘を計上せるが其計畫を聞くに少くとも三十個所增設の豫定にて各道に於て適當なる調査を待つて撰定すべしと

●**柞蠶不振と楮樹栽培** 黃海道平安南北に於ける柞蠶事業の有望なるは世人の既に知るところなるが但其の方法宜しきを得ざるためか比較的收益少なく近頃に至りては何分同事業に意を薄うするにいたれる傾あり殊に本年は昨年よりかけて清國動亂の影響を受け價格著しく暴落したるより唯稀繭として他に販賣するのみ當業者は大に困難を感じ居るが之れに反して楮樹の栽培は非常に好く楮皮は牛一駄八圓內外にて而も之れが一駄は優に朝鮮紙二千五百枚以上を製造し得らるゝより同地方の企業熱は昨今專ら楮樹栽培に推移せんとするの傾向ありされば當局にあつては專ら之れが栽培の奬勵を須ふると同時に一方柞蠶の振興に就ても大に講究されんことを望むと同地方よりの歸客は語れり

懸賞論文募集

半島鑛業振興策

募集規定

一 懸賞金壹百圓

一 右は當選論文發表と同時に當該論文寄稿者へ贈呈すべし。

一 文章は論文體言文一致体何れにても宜敷成べく平易簡明なるを可とす。

一 當選論文の決定は本社爲鑛業關係諸大家の審査に因るものとす、而して當選論文の數は一篇とす。

一 締切期限は來る三月一日とす

一 當選論文の發表は來る三月十日の本紙上に於て爲すものとす。

一 當選論文の發表は寄稿者の御希望に因り本名匿名何れになすも妨げなし但し匿名を要せらるゝ方と雖本社に對しては住所氏名を明かに通じ置かるゝ事

一 募入論文は當選外のものと雖應募者へ返還せざる事。

附記 本懸賞は實際的鑛業振興策を募集するものなれば文章の巧拙は敢て問はざるものとす

京城新報社

●**各隊教育標本蒐集** 朝鮮駐劄第二師團は來る四月交代歸還に決定せるを以て宮城縣教育課より今回各守備隊に朝鮮教育標本及び參考品の蒐集方を依頼し來れるにより目下各隊に於て右蒐集中なりと云ふ

●**金巾紡績糸移入狀況** 目下移入の繁忙時期に當れる金巾及び紡績糸の當地移入狀況を聞くに白金巾は鐘ヶ淵紡績會社の九龍印大阪及び三重紡績會社の三ヱー印共に移入多く其の價格は何れも一箇二十反百三十圓前後を唱へ今春に至り既に二千餘箇の移入を見たるも鮮人間の舊節季前とて需用多く着早々品切の好況を呈し又た紡績糸は當地方の鮮人間に需用せらるゝは專ら十六手撚一種類なるに恰も其の材料たる太番が內地に於ける各紡績工場の需用增加したるに反比例して米陸地綿花買綿等の輸入少き爲め品不足を告げ從つて十六手撚紡績糸の當地移入は品拂底を告げ居るといふ

●**京畿道管內講話會** 京城道廳にては蠶業獎勵上之れが短期講習及講話會を開き蠶業思想の普及を計ることゝし管內各府郡をして之れを開設せしむべく準備中なるが右講習會期は一ヶ年會員は二十名以上八十名內外とし四日又は三日間便宜の時機に於て講習を開き講習生には講義錄一部宛を無代配付し講話會は一府郡一日乃至二日間に涉り講習會開催以外の時日に於て之れを開き普く一般に聽講を許す豫定にして各區共二月二十二日を以て始め其の講師は授產場職員之れに當るべしと

●**黃海道恩賜事業費目** 四十四年中黃海道廳に於ける恩賜金事業の各費目は模範田施設五百六圓蓆、織叺、製造傳習費千三百八十圓農器具貸與千二百六十五圓種苗配付千六百五十圓稚蠶飼育乾繭六百七十七圓苗圃新設費千八百八十四圓授產補助費三千圓產業技術員費四千八百廿七圓養蠶傳習所費四千六百二十五圓共同苗圃三千〇五十七圓教育補助費一萬四千〇七十九圓凶歉救濟五千四百七十圓等總額八萬二千七百三十三圓余なりと

●**咸北道の產業概況** 帆足咸北道內務部長談

▲**內地人の見地** よりすれば咸鏡北道は等しく朝鮮內と雖も氣候風土等他と大に趣を異にするものあるを以て何等か他に異る有望の新事業あるべきを豫期し移住を企つる者あれど本道の農產物としては粟大豆黍畜牛等ある而已にて內地人の常食とすべき米穀の產額少く人民の食料にも缺乏を告ぐる有樣なり即ち本道に農事經營を企劃する者は先づ數年間徒食するに足る資金の必要あり而して各種農業上本道に於て最も有利なるは

▲**果樹及び蔬菜** の栽培なるも蔬菜は其の供給範圍が羅南鏡城淸津在留の少數內地人に限られ比較的有望ならず果樹は林檎、梨、葡萄等何れも本道の風土に適し其の栽培は其の結實迄に數年の時日を要するも目下之れが栽培に從事する山口縣人中村某の果樹園（十五六町步）の成績に見るも林檎の如き其の成績良好にして浦鹽地方への輸出盛なり次で

▲**有望事業は畜牛** にして本道主產物の一たるも今日にては未だ牧塲の設備なく悉く鮮人各自の副業的飼育に係り內地人にして畜牛經營を試るには先づ第一に所々の廣地に樹木を植栽し生牛の体憩場に充つる等其の飼料たる牧草大豆類の比較的豐富なるに拘らず大資本を要し又た適地を發見するに困難にして且つ其の收益は數年の後を期する外なし即ち本道

▲**第一の有望事業** としては鑛業を推する外なし本道鑛區の許可されたるもの今日に於ては未だ廿六區に過ぎざれど世界中南北に流るゝ山脈多き地は鑛山に富むと稱せらるゝ如く本道の山脈の多くは南北に向つて流れ到處砂金、石炭、銅、鐵等の鑛床に富み就中石炭最も豐富なれど這は炭質餘り優良ならず都會地の燃料に給せらるゝに過ぎざれども之が發掘は鏡城其他都會地に工場を設立せしむるに於ても導因となり利益多かるべく銅鐵は梨津銅鑛の如き含有分七割を占め品質純良にして其他にも同質の銅鑛所在に散見し砂金の如き亦た其の產出少なからず今日知られたる鑛區にして既に然り尙ほ人跡未到の地多きを憶ひば本道鑛山業の有望なるを知るべし最後に遺憾とするは本道に於ける

▲**移住內地人** の多くは雜貨商諸工事の請負業者勞働者なるが雜貨商の如きは一商店にて萬般の商品を商ふ結果同業者競爭の必要上互ひに不正の暴利を敢てし往々却つて朝鮮人より不名譽の誹訴を受くるに至る者頗る〳〵たる有樣なり是れ內地人商人が營業上分業制度を採らざるの結果に基くものたるを信じ是非改良を要すべきを思ふと共に今後の移住內地商人の心掛くべき點たるを信ずるなり云々

●**獨皇帝の誕辰祝賀** 既記の如く二十七日は恰も獨皇帝の誕辰日に相當せるを以て同日午前十一時三十分より當地駐在獨逸總領事館に於て內外一般の祝賀を受けたるが山縣政務總監、宇佐美內務部長官、小松外事局長、桑原秘書官は十一時三十分上田軍司令官柴參謀長には同十一時四十分何れも同領事館に赴き祝賀を述べ正午歸邸す

●**倶樂部合同式擧行** 去る三十九年の創立にして國分人事局長の監督せる日鮮官民より成る大東倶樂部は南山倶樂部と合併する事に決し二十七日午後二時より黃金町貴族會館に於て其の合同式を擧行せるが來會者約七十余名盛會なりしと

●**漢江架橋工事經過** 漢江に於ける架橋工事の近況を聞くに目下嚴寒中なるを以て工事の進捗甚だ困難なるが昨今全体を通じて約三分通り竣工せりと

●**龍山小學校落成式** 龍山元町小學校新築校舍落成したるを以て來る三十日午後一時より官民約六百名を招待し盛大なる落成式を擧行する由なり

●**官立學校生徒募集** 朝鮮各官立學校にては來る四月入學すべき生徒の募集を爲すべしといふ

●**一週間手形交換高** 京城手形交換所に於ける去る廿二日より廿七日に至る一週間の手形交換枚數は二千九百二十二枚一日平均四百八十七枚金額九十七萬九千百八十一圓七十四錢一日平均十六萬三千百九十六圓九十七錢なりと

●**電信電話事務開始** 通信局にては黃海道長淵郵便所より咸鏡南道安邊郵便所に至る區間に於て通信事務開始の必要を認め之れが創設準備中なりしが今回右準備完成したるを以て來る二月一日より電信電話の事務を開始すべしと

●**今村分隊長の赴任** 新任長興憲兵分隊長中尉今村嘉之助氏は廿七日夜赴任

公人私人

▲鈴木逸平（新聞記者）二十六日入京櫻家へ

▲神代彦次（辯護士）同山本旅館へ

▲井原德松（忠北憲兵隊附中尉）同原金

▲福田信治（三菱門司支店長）同京城ホテルへ

▲高須萬太郎（技師）同弘津館へ

▲大久保到（全北內務部長）二十六日出發全州へ

▲佐藤重治（全南內務部長）光州へ

▲神谷隼男（平北內務部長）義州へ

▲京城手形交換高▼

	金額	枚數
一月廿七日	一四三、八二三、三八〇	五一〇

▲茶袋▼

東拓會社に去年の秋頃迄谷井といふ殖產課長心得が居つた此の男比較的年の若い丈あつて客氣に富み、時に胸中の鬱勃を漏らさんが爲め粉圍紅陣の間に出入してチョイ〳〵浮名を流して居た▲トコロが此の男タシカ去年の九月頃會社に對する平素の不平が一時に勃發したものか斷然職を退くと同時に宇佐川總裁に宛て社內の情弊及び各理事の反目等を二十六ヶ條に別けて陳述し、ソシて其の中には某理事の無能なことなどを存分に素ッ破拔いたゲナ▲二十六ヶ條の內容は相憎と知らぬが何んでも餘程痛快を極めたらしい、尤も同社員の或るものは道ういふことを言つて居る『谷井といふ男は何うも素行が修まらぬ、藝妓なぞを圍つて置く位だから評判の惡いのも無理はない』併し女を圍つて置いたといふことはた氣の毒ながら餘り高い聲では言へまいテ上の好むところ下之れより甚だしきはなしかチ▲岡崎日韓瓦斯電氣會社專務は朝鮮の金融機關統一に就て例の水戸辨丸出して道ういふ氣焔を吐いて居る『何んでも構ァねーから一緒にしッちまうーんだ■、朝鮮銀行、農工銀行、金融組合、ソレから東拓金融部を一緒にしッちやつてソンで統一をつけて朝鮮拓殖銀行とでもしたら好かんべーー』成程ソレも好かんべーよ。

（廿六日分）



元花月の仲居頭 おのぶの述懐談

本篇は新年初頭の休暇を利用して別府温泉に遊んだ某紳士が途、門司の川卯に一泊した時偶然其坐敷に出た仲居が即ち本篇の主人公おのぶであつた、ヤー、アラ、を機會に久振りた、久振りでムいます、お話もムいます、其後の京城の樣子も聞かして頂きたい、面白い、今夜は一つ飲み乍ら差向いでシンミリと、是非何卒と語り明した。號を逐ふて御紹介を申す、本篇が即ち夫れである、元より談話は傳聞したものであるが責任は筆者にあるのは斷る迄もない（記者）

、、、、、、『マアお久しい事でムいました、デ被在いませうともね旦那とお別れ申してからがモウ丸三年の上になりますんですもの見違へたと仰云つても決して薄情で被在るなんて御不足は申上げられませんよ、エ、大變婆アになつたと仰云るんですかホホ、、元から好い加減の婆アさんでムいましたが全く何んでムいますよ此頃では自分乍らもメッキリ婆ア染みて來たとゾック〳〵情け無くなる事がムいますんで』と一寸ホロリとした表情を作つて『其婆アの私も御厄介になりました京城から内地へ歸りました時には御蔭樣と身分相應のお貯を持つて居ましたので或る人のお勸めに從ひまして馬關の稲荷町で……エ、馬關だけは御丁寧過ると仰云るの、コリャ成程左樣でムいましたね、ホホホホ其**稲荷町でお茶屋**を初めて妓輩の五六人も置き**一寸は賑か**に**行つて**試ましたが慾うも一旦自所落に身を持崩したものは仕方の無いものでムいましてお恥しいお話でムいますがねオホ、、、貴郎、**年甲斐も無く或る男に關係**しましたので巧く行つた**稼業**も其男の爲めに**形無し**にされて仕舞いました……女つてものは弱い者でムいますね、全体貴樣がマメだからは少々可憐相でムいますよ……夫れも此れも皆な持つて生れた約束事と諦めをつけました、に就てはモ一遍京城へ歸つて御厄介になつて見たい、とも思ひましたが何やら彼やらの事情から左樣云ふ譯にも參りませずタガの緩んだ結果が此樣の御厄介になつて居る始末なんでムいますよ』と語り來つた彼女の姿は淋しい、左手を帯の間に右手を襟に乳の邊りをヂツと押へて差俯向た横顔に電燈の光り冷たく照り映へてメッキリと頬の痩が見ゆる『トンダ世話場を出しましてお酒へ水を加しましたこと、モウ〳〵野暮に愚痴らずと一つ陽氣なお話を致しましようよ、アラ下さるの……恐れ入りますが一つ重ねましてね、少し景氣を附けて掛りませんと駄目ですもの、エー夫りや御座いますとも此樣に厄介になつて大分になりますものね京城ではお馴染の方でお泊りの方もタント有りました、エそれは其内には貴郎藝妓買を被成た方もあり娼妓買を被成た方もありますがね夫れを白狀しろは旦那、貴郎でも無い野暮ですワ、何分眼と鼻の間の門司に居りますんですもの**京城の方が馬關や別府**など**駄々羅ッたり絞られ**たりの**お噂**を承ることは屢々ですが夫れも前々御贔負に與りました旦那樣方の事ですから德義上……ホホホ漢語も知つてるのですから偉ムいましよう……と云ふ譯でムいますからホントウに夫れ斗りはお許し下さいまし其代りと申しては可笑しうムいますが**お土産話に京城の舊い所**を申し上げますよ、エ、京城の話を門司で聞くとは好い篦棒だつて仰云るの、ケド貴郎朝鮮土産鶴の箸は大阪で買つた方が安い世の中でムいますよ、アラ又下さるの、其樣に頂いたら醉つて仕舞いますよ、エ醉はして試たいんだつて、ヤア何と云ふお口でしよう憎らしいよ』惰に露む眼の耀き『タシカ**四十二年の秋頃**でムいましたね、アノ**韓國銀行の市原の旦那樣**ですかね御自分のお藏から較べますとお**孫さん位**にお**當る丸髷姿の方をお件**れになつて此所なお通りになりましたよ、**其女の名**ですか、一寸お待ちなさい此所まで出蕈つて居るのですから』

物騷至極な乞食

▽物を與ぬとて放火

二十六日午前八時北部禁橋派出所の巡査補が禁橋を通過の際河原を急ぎ行く鮮人の舉動不審なるより誰何したるに逃げ出したるを引捕へて見ると陶器製の祭具六個を所持するより取調べたるところ此者は北部玉洞十幕内元巡査補盧錫仁の弟住所不定の乞食盧永錫（二九）とて該祭具は玉洞居住の崔德順より貰ひ受けたりとの事に他に犯罪の有無を訊問すると泥棒はしないが放火をしたとて昨年十二月二十六日以來北部梅洞司宰監洞滯洞体府洞九曲洞及び西大門分署管内社稷洞に十數回放火したることを自白したれば洪巡査補と共に一々現場を案内せしめたる上本署に引致嚴重取調べたる處全く性來の白痴にて食を乞ひに赴きたるも何物をも呉れぬを怨み且つ放火を此上なき快事と心得居る放火狂なること判明し目下同署に監置す

●南大門市場倉庫の燒失

▽損害價額約三萬圓

二十七日午前二時三十分頃南部倉洞鮮人市場内より發火し見る〳〵中に該市場の建物は火焔に包まれたるが即刻警官各消防隊守備隊等より馳け付け消火に盡力したるより附近に延燒せず一棟百八十坪を貨物諸共燒盡したるのみにて同二時半鎭火したるが損害見積價格は三萬圓にて原因は失火と思はるゝも詳ならず取調べ中

社告

一店員寫眞帖發刊

右は今回我商業會議所に於て勤續店員諸氏を表彰するの舉を賛し此機會に於て京龍仁各商店の店員諸氏紹介の目的を以て發刊するものなり詳細は後報すべし

京城新報社

●江戸ッ兒會

▽二十八日第二回開會

閑暇と財貨とが有り餘つて辛い浮世を甘く暮して行かれる連中が三分五厘に無ねコーでもあるめねと他から見れば至極馬鹿氣切つた事ながら御當人達に取つては清國政体の變動なぞよりはズーッと一大事と智惠袋の口を緩めて倒にフルつた結果コロ〳〵と轉げ出したのが此江戸ッ兒會、名案なる哉乙なる哉と横手を拍つて嬉しがつた連中、跡でイザコザの無い様にと此も江戸嗜味から割出した**一人前五圓宛の兵隊勘定**で發會式をやらかした時には規則めいた、會員たるものは江戸で生れた人か又は二十五年以上江戸生活をした者に限るとか云ふ恐ろせねものがあつたのだ相だが世間の評判が面白く無いと見て取つた連中流石江戸ッ兒の判りも早く今では規則なんてものは一切お廢し四海兄弟の思召を其儘に北海道のアイヌでも臺灣の生蕃でも樺太のキリャクでも乃至はヨボでも東京に多少の縁故ある人なら會員たる事差閊ねず會の目的は江戸ッ兒趣味の鼓吹にあるんですから扨江戸ッ兒趣味の鼓吹とはマサカにらと乙に砕けた案内振りは然る事ながら火事や喧嘩や宵越しの錢を持たねね趣味の夫でもあるめね、モ少し明瞭何はないと、血の循環の悪い俺どもにはトント合點が參り難ねる、夫は扨として前會には八王子在の江戸ッ兒**吉野**君と岡山縣の江戸ッ兒**岡崎**君とが持合せの江戸ッ兒の本性を現はし**三十圓宛を惜し氣も無く寄附**した相だ會員として集つた五六の人達はたゞシルシ丈の會費を出した計りで岡崎吉野兩君の**御馳走酒を飲つて唄つたり舞たり**したのだ相だ大盡が三十圓宛の寄附をなさる相だが聞く所に依ると二十八日の同會にも兩大盡の出席を當込みの割勘だけを包んで振舞酒を頂戴しに出るバパッチイ江戸ッ兒も澤山ある事だらう、他人の懐中を當にしての遊興沙汰、イヤ何も當世で御座る恥を知れ恥をなんぞは野暮で御座る此も又一段と面白い事でムらうと提灯を點すこと斯り（ホの字投）

●朝鮮狩獵團の發表

▽廣く團員を募集

東京獵話會にて朝鮮に團體狩獵の計畫ある事は既記の如くなるが愈々同會主催となり來る三月上旬解氷の期節を待て催す事となり其發表を新年宴會に兼て二十三日午後五時より上野公園常盤華壇に催したり右團員は總計三十名にて廣く募集する事となし一人實費六十圓を要し滊車賃、宿泊料朝鮮狩獵免狀料、備夫賃錢其他準備に關する費用は團にて負擔し往復十五日間なりと又本團には團長一名幹事三名會計一名を置き團員を三部に分ち各部に部長を置きし事務の整理を爲さしむる由なるが希望者は二月十日限り十圓を添へて宮崎、大倉、桑原、岡本の各銃砲店又は準備委員に申込むべしと發表したり

●鮮人辻强盜就縛 原籍京畿道高陽郡西山面翁洞當時東部舟橋八十三統三戸居住の擔軍朴伏得（三〇）は昨年十二月二十八日夜中部壽洞路上に於て廣州郡西面美沙洞金明實なる牛牽に出逢ひ荷物の運搬を托すべしと欺き壽洞の酒幕に連れ込み共に一杯飲みたる上酒代二十錢を金に支拂はせ人通りなき場所に誘ひ出だし突然飛び付きて腰に下げたる一圓八十錢在中の巾着を强奪逃走したるが其後同一手段にて前後四回辻强盜を働き酒食に耽り居たるを此程北部署の手に捕はられ取調べの上二十六日檢事局に送らる

●米國人の特志 米國ペンシルバニャ州知事カター氏は此程スタンダード石油會社仁川支店堀清氏の手を經て仁川基督青年會基本金の内へ金二十五弗を寄付せり

●親は新町子は泥棒 仁川府内面德積島六統十二戸金成根の次男金順世（十九）は日常父が仁川に新賣りに來るを幸ひに父の跡を逐ふて仁川に來り市中を徘徊し空巣覗ひを爲し竊取したる品物は德積島へ持歸り居たるが去廿六日京町鈴木時計店にて銀側無双懐中時計代二十圓を同町朝鮮人古物店にて靴一足を竊取し尚廿六日朝新町永井仙次郎方店頭にて靴二足を竊取し逃走せんとせるを取押へられ取致取調の上廿七日檢事局送り

洋犬紛失

一ドイツ種ポインタア牡犬一頭

特徴 毛色肝臓色肋に白斑あり前の兩足半白短き尻尾大きな光る眼

右は『ドラ』と呼べば來る犬なり御發見の御方は左記へ御知せ被下候へば相當の謝禮を差上べく候

京城貞洞 ソンタクホテル方 ギブス

●喧嘩兩成敗 二十四日午後十一時半頃より翌朝二時迄新町遊廓第一樓及び大和新地南海樓に於て酒興の末短銃を持ち出して大騷ぎをしたる永樂町二の一二七細見傳次郎（三七）明治町二丁目長谷川乙吉（三二）同正代末三郎の三名は二十六日南部署に於て嚴戒されたる上各科料金二圓に處せらる

●鮮人巡査のお手柄 龍山青坡一契人夫業金成汝（三七）萬里峴住金相辰（三八）の兩人共謀して二十六日夜蓬萊町二丁目に建築中の京城精米所附屬の倉庫に忍び入り小麥五叺を竊取したること同日午後三時頃藥峴派出所の李巡査補に探知され西大門分署に引致取調中

●鮮人の枕探し 黄海道白川郡東村面錦昌白が去廿二日仁川府内面新花開洞龍致煥方に投宿の翌廿三日夜現金四十三圓紛失せし旨屆出でたるより金巡査補が探査の結果同宿者金聖方（四〇）の所爲と判明し本署に引致取調中

●越山肖像畫會 舊臘十二月一日和田常市大村保太吉野太左衛門三氏の發起にて開ける藤田越山畫伯の肖像畫會は既に會員百名に達したるが更に第二回の會員を募集する由申込所は本町六丁目山下傳吉商店なりと

●無屆宿屋に科料 仁川宮町三丁目九番地仲仕業異野片三郎（四八）は昨年一月初旬より數多の者を宿泊せしめ賄料を徴收し居たるより宿屋營業取締規則として廿六日科料金一圓五十錢に

宗匠訪問録

香茶生花琴三味線踊や唄の宗匠巡り

鷲山宗直氏

裏千家茶道今日庵宗室師範代

本町三丁目の龜屋商店を横に這入つた暗町の右側に裏千家茶道と池坊華道の二ッの看板が並んで揭げられてある案内を乞ふと六十近い婆さんが出てドッチの先生ですかと云ふので御在宅の御方にと返事すると此方にと案内されて六疊敷程の温突に通ると裏千家茶道今日庵宗室師範代鷲山宗直と云ふ先生が瓢形の火鉢を傍らに端座してゐる勘平さんではないが未だ三十になるかならない年配で銀縁の輕い近視眼鏡を掛けてゐる一通りの挨拶も濟みフト床に目を移すと天草神來畫伯の墨竹の軸が掛けられて前には梅と水仙とが別々に活けてある何となく閑寂の氣がする先生徐ろに口を開いて語る當地にも隨分茶道の教授をなさる方が多いそうですが世間のお噂では正式に學んだ人が少ないので乞ひに應じ且つ家元から依賴されて同じく茶道を擴めるならば正式に道を開きたいとの考へから昨年の十一月二日京城に來ました未だ日が淺いので當地の模樣もよくは存じませんから茶道に就てお話し致しませふ千家と云ふても現に京都に三千家と云ふて裏千家今日庵宗室表千家不審庵宗左及び武者小路宗守の三人がゐます外に裏古流細川三齋流など幾多の流儀がありますが利休居士から傳はつて來たのは三千家ばかりなのです（つゞく）

日曜集會

●高野山の不動會 新町高野山に於て二十八日午後二時不動會を修し説教並に會員の希望に依り來月二十八日毎月定日護摩供を執行する筈

●微笑會 二十八日午前十時より例に依り初音町二丁目臨濟寺に於て圓山太嶺老師の碧巖集例會提唱あり

●日本基督教會（旭町四丁目） 二十八日午前九時半より日曜學校午前十時半午後七時半よりの二回左の説教あり

（朝）天地の近接 丹羽清次郎氏

（夕）最も益なること 渡邊暢氏

●メソヂスト教會（旭町二丁目） 二十八日午前十時より日曜學校同十一時、午後七時半よりの二回左の説教あり

（朝）十字架の新意義 藤岡牧師

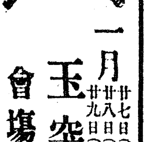
（夕）題未定 同上

●演藝だより

▲壽座 若島屋一座二十八日の替狂言は前『菅原傳授手習鑑』切『太閤記十段目』二十九日前『箱根靈驗躄の仇討』切『扇屋熊谷』なり

▲歌舞伎座 浪花節芝居市川小圓次の一座にて二十九日より開演する由

▲浪花館 相變らず三遊亭圓若の一行で大人氣なり



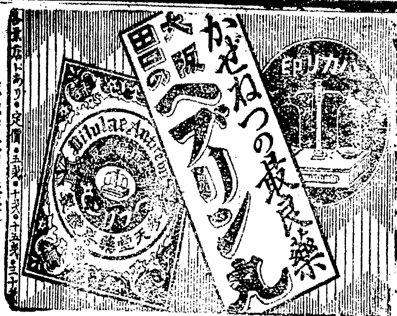
●諸公債株券

現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業 諸官衙御用達 既製洋服小賣
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店 電話九九三 電略(タ)

●大學かれこれと迷ふこと勿れ完全無缺の目藥あり



大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし目藥の製劑にして一切の眼病に可驚奇效あり
發行所 大坂市北濱二丁目 元へブリン丸 參天堂藥房



代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番

▲通信販賣▼ 賣次 營業

一、遠隔の御方御手紙で百般の買物を御調達するは弊店の通信販賣に限り申候
◎何品に不拘御入用の節は必ず先づ弊店に御通知被下度候
◎營業品以外の物品にても御注文に應じ御取扱可申候
◎御注文の節は可成前金又は振替貯金に御振込被下度候
◎前金御送附なき御方には代金引換小包郵便にて御送附可申上候
△御注文は地方係宛御申越可被下候
◎詳細は弊店物價表にあり御報次第進呈

營業概目
△各國時計及附屬品△眼鏡指輪裝身具類
△貴金屬美術品類△歐米自轉車及附屬品
各種寫眞機及原料△大聲蓄音機及び音譜

直輸御小賣 織居商店
釜山南濱町出張所 平壤大和町支店 京城本町四丁目
振替口座一二三一 時計部電話三六二 寫眞部電三三九二
本町二丁目 自轉車部電話四八〇番
南大門通三 樂器部

地方係

▲共通商品券▼

◎贈答品は弊店發行の織居共通券に限る
◎本券は引換地廣く扱店數も多き故普通商品券より多くの便利あり
◎又本券は左の各扱店に於て引換可申候
京城織居各部、平壤織居、釜山園田、仁川糸岐、北島、長野、元山山口、德田、大田鹽崎、大邱木村、開城戶田、鎭南浦井川吉岡、群山紳林、木浦田邊、沖永、安東縣、相良

英國セフヒールド市 シーボムアンドディキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角鋼
職工用 同 鑢各種
右は朝鮮一手販賣權を有し滿鮮地方に材料鋼製作用として最も適當の品を撰み至極好評を博し價格亦內地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
和洋金物商 京城本町五丁目 釘本藤次郎本店
(電話四五番) 電信略號ク 振替貯金口座京城二五六番

物理化學機械 模型標本類 體操及運動具 教具校具一式 測量製圖機械 水彩及油繪用品一式 和洋紙帳簿一切 歐米文房具
◎新案韓語栞 發賣所
◎國語指南
朝鮮京城本町三丁目
教育品部 用達部
平田商店
電話一一五番 電信略號(ヒ又はヒラタ) 振替口座京城四六八番

東宮殿下御買上 京城博覽會一等賞金牌 乳牛料
洋種乳牛及朝鮮牛賣買 牛皮牛骨の賣買 入院隨意 京城家畜病院 種豚山羊家禽種卵賣買 多木肥料販賣代理店
京城古市町カ番戶
朝鮮畜產株式會社
電話八八番

効能ある温泉
鐵冷温泉
旅館並に浴客席貸
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行北横手)
廣安喜次郎
電話一四一一番

新荷着
厚物薄物 浪板平板 鐵板各種 各種垣用線
和洋金物商 京城本町二丁目
(彥) 佐野彥藏商店
電話一二六三番 振替口座京城一二〇番

齒科治療
本町六丁目(駿河屋橫町)
ドクトル 中村安子
女子見習募集委細面談
(電話一五八三)

洋藥賣藥問屋
京城本町一丁目(郵便局前)
山岸天佑堂藥房
電話三七二番 振替二〇三番

醫科理化學器械
京城本町一丁目(府廳前)
同 機械部
電話一〇六番

輕便手濡さず衞生的米洗器
最も德用便利なるテンピ
經濟的有利なる敷島竈
新式流行教育玩具類
智惠比べ秘密貯金箱
堅固美麗なる手提金庫
優美高尙なる傘臺
教育上心要なる礦石標本

仁川新町一丁目西北角
(ツ) 津田兄弟屋
電話七六二番 振替口座京城三八九番

御旅館 天眞樓
京城南山町
電話六四九番

比較ハ最良ノ選擇法ナリ



櫻正宗
優等清酒
釀造元 攝津灘 山邑太左衞門
釀造高貳萬余石
京城明治町一丁目(漢城病院前)
山邑京城支店
電話八四九番 振替貯金京城七五番
市內到ル所ノ販賣店ニ有之候ニ付櫻正宗ト御指定御買上被下度候

日本蓄音器商會 日朝鮮本音譜
各種品揃
朝鮮總代理店
音譜目錄無代進呈
地方は御送料に五錢切手封入又は振替口座にて御申込の事
小包にて御送附可仕候
大聲發音器



歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商
京城本町
辻屋
電話二四八番 振替口座八七番

釀造元 政宗 正則 清正
酒 小賣壹升に付三十五錢
御卸賣は特別割引可仕候
京城壽町三丁目
南味淋燒酎酒並に日用食料品雜貨類
釀造元 中井酒造場販賣部
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候
電話百七十七番

精神感應
催眠術 無催眠 諸病治療 惡癖矯正
南山町一丁目 六十四番戶ノ二
大剛庵

優等清酒



釀造販賣元
仁川港
吉金酒店
(電話七六四番)

齒科診療
京城本町二丁目三越吳服店前
野田齒科醫院
仁川仲町三丁目末永吳服店隣
野田齒科醫院分院

最上醬油
(高)
釀造元
仁川港萬石町
高杉醬油釀造場
電話七六五番

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
電話 參參壹番 壹貳六〇番 六壹貳番 壹貳六壹番
支店出張所(大坂、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣)
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

M.C.C.
土耳古卷紙 エムシーシー
專賣局定價は拾本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
京城 平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

一月中 瀛船出帆廣告
三省丸 安來丸 成歡丸 海利丸 三省丸
舊島行 海州行 串州行 海州行 大湖芝行
一月廿八日前十時 一月廿九日前九時 一月廿九日前十一時 一月廿七日前七時 一月廿七日前十時
合資會社 秋田商會船舶部
仁川本町二丁目 電話一七三番
仁川本町一丁目 電話七五〇番
荷客取扱所
秋田商會船舶部荷捌部 仁川本町海岸通 電話四一九番
柴田回漕店 電話五二二番
山本回漕店 仁川本町四丁目

唐辮白米

特製 寶味噌
味噌製造 漬物類屋 たからや
仁川本町三丁目 電話七三七番
御料理向

東京流納豆大安賣

京割烹流齋茲
すし津称
南山町一丁目 電話千五百二番

新御裝は
春飾
京城明治町一丁目
唐川吳服店
電話二六一番
地方の御注文は迅速に發送仕候
商品切手發賣仕候

蒲團綿眞綿類は申迄もなく
特約メリヤス類安價大販賣